

令和6年度 札幌市生活支援体制整備事業 生活支援コーディネーター活動事例集



福祉、地域づくり、社会を元気にする
イラスト協議会+

令和7年3月

はじめに

○生活支援コーディネーターは、高齢者をはじめ地域にお住まいのみなさんが、いつまでもいきいきと安心して生活できるよう、地域組織や関係団体、社会福祉法人、民間企業などと連携しながら、日常生活の支援体制の充実を図り、支え合いの仕組みづくりを推進する役割を担っています。

○札幌市内においては、10区に第1層生活支援コーディネーター、27の地域包括支援センターエリアごとに第2層生活支援コーディネーター（生活支援推進員）が配置され、各担当地域で様々な取組みを展開しています。

○本冊子では、第2層生活支援コーディネーターの取組みから、各区より1事例をピックアップして紹介しています。生活支援コーディネーターの活動について、理解を深めていただき、さらなる生活支援の充実、支え合いの仕組みづくりに向けて、一層のご協力をいただければ幸いです。

目次

1. 札幌市における生活支援体制整備事業	1
2. 令和6年度における札幌市全体での取組み	2～4
3. 生活支援コーディネーター活動事例	
紹介事例マップ	5
中央区（第3包括エリア）	6
北 区（第2包括エリア）	7
東 区（第2包括エリア）	8
白石区（第2包括エリア）	9
厚別区（第2包括エリア）	10
豊平区（第2包括エリア）	11
清田区（第1包括エリア）	12
南 区（第2包括エリア）	13
西 区（第2包括エリア）	14
手稲区（第1包括エリア）	15
4. 第2層協議体会議の開催状況	16～17

札幌市における生活支援体制整備事業

ひとり暮らしや支援を必要とする高齢者が増加する中、地域組織やボランティア、老人クラブ、社会福祉法人、NPO、民間企業など地域の多様な主体が連携を図り、ちょっとした生活の困りごとを解決する高齢者の生活支援の体制を整え、「支え合いの仕組みづくり」を進めます。

① 社会資源の把握・資源開発

地域にある様々な情報を把握・整備します

生活支援に関する有償サービスやサロンなどの地域の居場所など、高齢者の生活にとって必要なサービスや場所などを把握し、「見える化」を行います。不足するサービスについては、新たに開発します。

② 生活支援ニーズの把握・共有

高齢者の生活に関する困りごとを調べます

地域にどんな困りごとが多く、どのような理由があるのかをアンケート調査や関係機関の会議への出席などにより把握・分析し、地域の方と共有したうえで、市民に発信・周知します。

③ 担い手の育成・発掘

元気な高齢者の社会参加を応援します

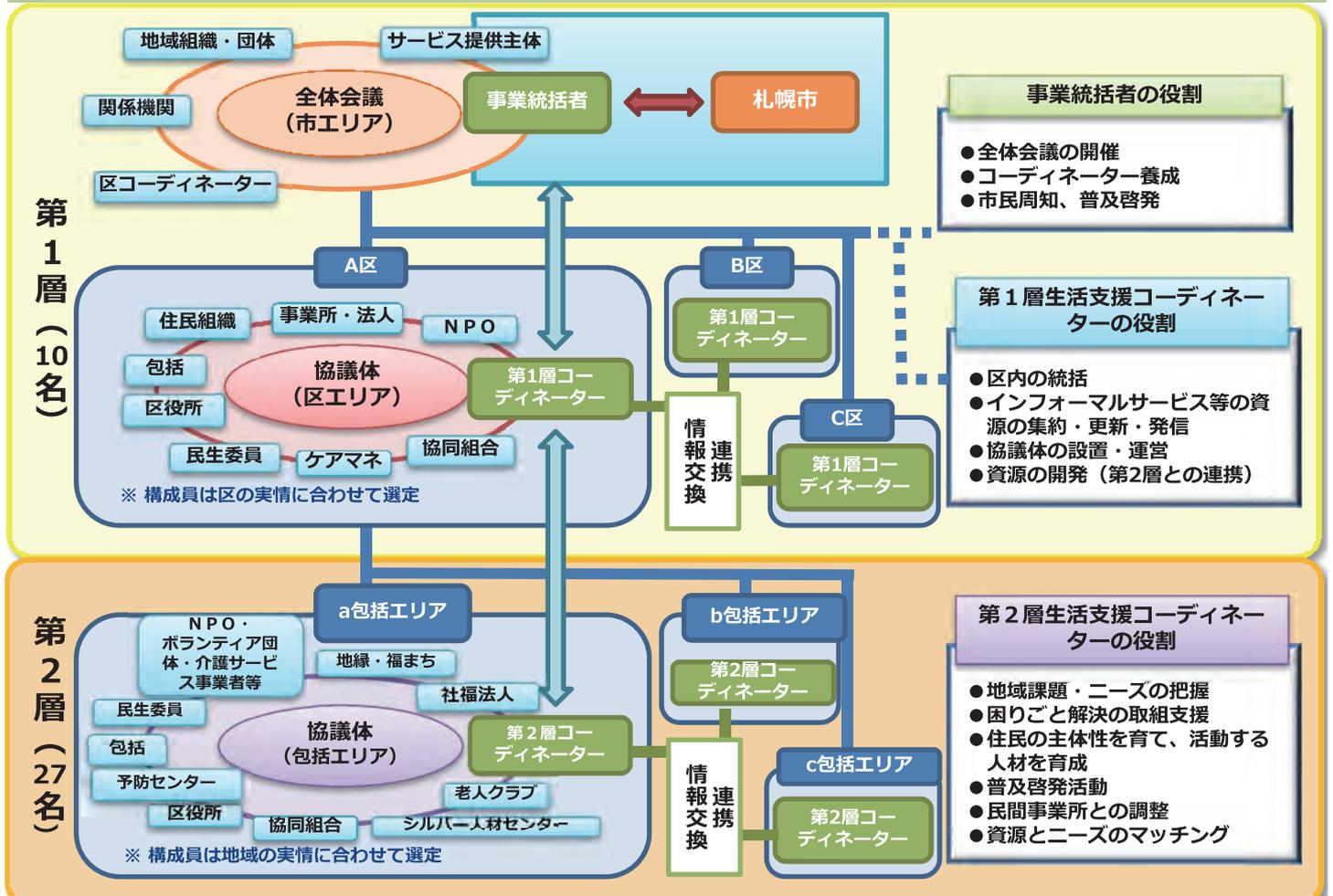
住民への説明会、ボランティア講座や住民ワークショップの開催などを通じ、「住民主体による支え合いの大切さ」を伝えるとともに、支え合いに参画する担い手を養成します。

④ 協議体の設置と運営

地域の困りごとやその解決方法を考えます

地域住民や関係機関などが集まり、地域における生活課題や情報共有、連携を強化し、地域の支え合い活動（ごみ出し、掃除、外出支援等）の仕組みづくりにつなげます。

札幌市生活支援体制整備事業（イメージ）



令和6年度における札幌市全体での取組み



札幌市生活支援推進連絡会（市協議体）

第1回【令和6年8月29日（木）開催】

ボランティア、民生委員、老人クラブ、ケアマネジャー、NPO、民間企業、行政等多方面の方々に集まっていただき、支え合いの仕組みづくりに向けた協議の場を目指しました。

意見交換の中で「高齢者が抱える困りごとって？困りごとに対する札幌市の強み・弱みは？あったらいいなと思う仕組みは何でしょう？」をテーマに、5グループに分かれて話し合った結果、様々な困り事（ニーズ）が出されました！



第2回【令和7年1月31日（金）開催】

前回よりさらにメンバーを増やして総勢70名の方にお集まりいただき、活発な意見交換を行いました。

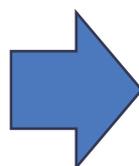
前回の協議体で出された24個の困り事（ニーズ）を、8つのグループごとに解決の必要性について優先順位が高いものに絞り、最終的に15個の困り事（ニーズ）にまとめました！



困り事の一例



- 移動手段（通院・買い物等）
- ゴミ関係
- 重いものを動かす
- スマホ、インターネット、家電の使い方



令和7年度以降、第1層（区）、第2層（包括エリア）において、解決すべき困り事（ニーズ）を絞って、様々な取組みを展開します！

「すすめよう！ひろげよう！『介護予防』と『支え合い』」

【令和7年2月15日（土）

@チ・カ・ホ（札幌駅前通地下歩行空間）】

より多くの市民の方々に事業のことを知っていただこうと、周知啓発イベントを初開催しました！

事業PRのパネル展示や体験コーナーの他、アンケートにご協力いただいた方にはオリジナルグッズをプレゼントしました！老若男女問わず沢山の皆様にご来場いただき、これまでこの事業に触れたことのない方々にPRすることができた貴重な機会となりました♪



全市の生活支援コーディネーターが集まる会議・研修会

札幌市内の10名の第1層生活支援コーディネーター、27名の第2層生活支援コーディネーター（生活支援推進員）が集まって、会議や研修会を定期的に行っています。

各コーディネーターが行う活動について情報交換を行ったり、全市的に共通した課題について議論したり等、お互いに高め合い、「支え合いの仕組みづくり」に向けて共通認識を持って取り組んでいます！

令和6年度2回目の研修会（令和7年2月18日（火）開催）では、地域における支え合い活動が盛んに行われている岡山市の生活支援コーディネーターの方々とオンライン上で意見交換をしました。他都市の生活支援コーディネーター同士の交流はこれが初めての取り組みです！



「生活支援等サービス情報一覧」の作成及び配布

生活支援コーディネーターは、それぞれの地域における生活支援に関するサービスや場所の情報を把握する活動も行っています。

その情報を一覧表として整備し、地域住民をはじめ、高齢者等から相談を受ける地域包括支援センターやケアマネジャー等の関係者にご活用いただき、介護保険では対応しきれない、ちょっとした困りごとに応える一助となることを目指しています。

一覧表の掲載内容については、生活支援コーディネーターが地域の困りごとを把握しながら、サービス等の情報収集を行っているため、区によって若干異なります。

主な掲載情報としては、買い物支援サービス、家事支援サービス、外出支援サービス、サロン等の集いの場となっています。



各区の「生活支援等サービス情報一覧」は各区社会福祉協議会で配布している他、札幌市社協のホームページ（下記URL）からダウンロードが可能です。ぜひご活用ください！

https://www.sapporo-shakyo.or.jp/join/lifestyle_support/service_info.html



▲掲載ページ
QRコード

生活支援コーディネーター活動事例紹介

事例	区	第2層エリア	地区	タイトル
1	中央	第3エリア	幌西	「啓明グランドハイツ集会場の活用について」
2	北	第2エリア	拓北・あいの里	「地域の支えあい活動が始まりました！」
3	東	第2エリア	元町	「あなたの力を地域で活かそう！ ～元町くらしのサポーターの活動から～」
4	白石	第2エリア	北白石	「新たな集いの場創出から地域の支え合いに向けた取組み」
5	厚別	第2エリア	青葉	「あさがお会買い物ツアー再開に向けた取組み」
6	豊平	第2エリア	福住	「シニアのためのスマホの会」
7	清田	第1エリア	平岡	「ロピア平岡Ⅱにおける高齢者の生活に関する懇談会」
8	南	第2エリア	藻岩	「集合住宅における住民交流・見守り活動充実に向けた取組み」
9	西	第2エリア	西野	「地域のカフェを活用し支え合いの場づくりへ」
10	手稲	第1エリア	新発寒	「老人クラブ新発寒寿会の福祉除雪からつながる支え合い」



活動事例
1

中央区 第3エリア 幌西地区
「啓明グランドハイツ集会場の活用について」



●事例の概要

啓明グランドハイツでは、高齢化が進み、孤立化や認知症の対応、住民同士の見守りが求められています。そのため、共用スペース（集会場）を活用した支援活動を行っています。

●事例の地域の概要

啓明グランドハイツが所在する幌西地区第15分区町内会エリアは、高齢人口が1,041人と幌西地内で最も多く、高齢化率が31.3%と高い地域です。

●具体的な取組内容

啓明グランドハイツ、A棟とB棟合わせて65戸のうち、65歳以上の高齢世帯が47戸（72%）に達し、多くの高齢者が支援を必要としている現状を把握。

生活支援コーディネーターを含む関係機関と住民が連携し、集会場を活用した支援活動として、定期的なイベントや活動を行いました。

5月: スマホ教室（5人参加）

6月: 健康測定会（4人参加）

7月: 成年後見制度説明会（6人参加）

8月: ゆる元体操教室（6人参加）

9月: 中川きぬ糸&ウッキーライブ（9人参加）

10月: 啓明寄席（10人参加）

11月: フレイル予防教室（11人参加）

活動を重ねるごとに参加者が増えており、地域住民の関心も高まっています。



生活支援コーディネーターとしての思い

地域住民や関係機関と協力し、孤立化や認知症の問題に対応するための支援活動を推進しています。高齢者が安心して生活できる環境を提供するため、共用スペースを活用し、持続可能な支援体制を構築することを目指しています。今後も地域住民のニーズに応じた活動を展開し、地域との連携を強化していこうと思います。

活動事例 2

北区 第2エリア 拓北・あいの里地区 「地域の支えあい活動が始まりました！」



●事例の概要

地区社協主催の研修会にて、「この地域にもちょっとした困りごとをお手伝いしてくれる仕組みがあると嬉しい」との声を受け、生活支援ボランティア団体の立ち上げ計画がスタートしました。

●事例の地域の概要

「拓北」「あいの里」「南あいの里」と開発された背景から、この順番で高齢化が進んでいくと考えられ、現在「あいの里」が急速な高齢化を迎えています。

●具体的な取組内容

①アンケート調査の実施

地域で困りごとを抱えている人はどの程度いるのか、どういったことで困っているかを把握すると同時に、ボランティアを募集するため全戸配布のアンケートを実施しました。



②ボランティア集合！活動開始に向けた話し合い

最終的に20名近くの方にボランティアの志願をしてもらいグループの立ち上げに向け話し合いの場が定期的に設けられました。何ができて何ができないかなどをはじめ、様々なことを時間をかけて検討しました。コーディネーターも参加し都度状況の把握や助言に努めました。



▲LINEグループを作成し
連絡も取りやすく

③ついに活動開始！身近な生活をお助けします

話し合いを重ね、令和6年12月から活動を始めることができました。この地区は雪が多く、活動開始から1ヶ月の間に除雪の相談が2件入りました。除雪は基本活動ではなく要相談の活動としていますが、自分たちで対処できるかきちんと現地を確認し、2件とも迅速に対応しました。



生活支援コーディネーターとしての思い

「この町をよくしたい・困っている人の役に立ちたい」という強い思いを持つ人が集まり、何度も話し合いを重ねて活動開始に至った団体。とりあえず走り出してみて、困ったことが出てきたらその都度考えようということで始まったので、今後も継続して状況の把握や必要に応じた助言等を行い、地域での支えあい活動を永く続けられるよう支援を続けていきます。

活動事例
3

東区 第2エリア 元町地区
「あなたの力を地域で活かそう！」
～元町くらしのサポーターの活動から～



●事例の概要

令和5年度に開催した「元町くらしのサポーター養成講座」受講生の皆さんの、「地域に向けて何かやってみたい！」の気持ちが「元町かふえ」として形になった経過をお伝えします。

●事例の地域の概要

元町地区は地下鉄沿線に位置し交通の利便性は高い地域です。高齢化率は24.7%と東区内では一番低いですが、市営住宅や戸建てが多い地域では高齢化率が上昇し単身高齢者も増加しています。

●具体的な取組内容

東区では「くらしのサポーター（※）養成講座」を令和4年から開始。生活支援への関心のきっかけ、地域福祉活動の担い手育成として各エリア毎に毎年実施しています。

※くらしのサポーター：ちょっとした困りごとを手助けしてくれる方
地域づくりと一緒に進めてくれる方

《元町くらしのサポーターからのこえ》

いきなり生活支援に行くのは、今の自分たちには少しハードルの高い活動。でも、何かみんなで、やってみたい・・・。

この声をきっかけに「協議体」を開催！！

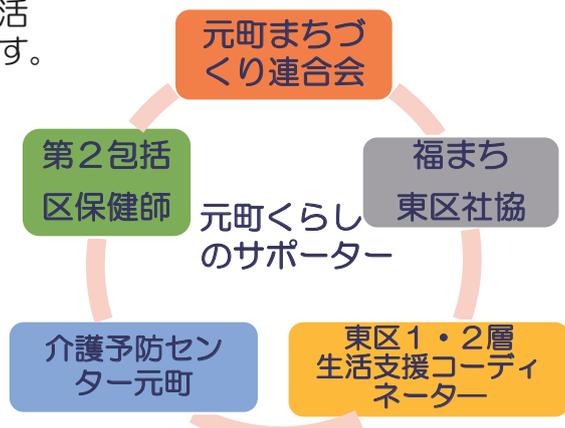


「元町かふえ」開催に向けた取り組みが始動！
令和6年6月29日に記念すべき第1回を開催。

大きな鍋で作ると一層美味しいメニューを、温かいうちにみんなで食べる時間は格別！！
食材を切るのも盛り付けも大人数だと大変だけど、自分たちも楽しんで活動しています。
独居高齢者の参加が増えてほしいです。



【元町地区の協議体】
くらしのサポーターを中心に開催



生活支援コーディネーターとしての思い

元町くらしのサポーターの「何かやってみたい」の思いをかたちにするために、まちづくり連合会、福まちの皆さんの取組みに対しての理解と支援、関係機関の協力があり、今回の取組みが形になりました。この取組みが地域に根付くよう、地域関係者、関係機関とともに元町くらしのサポーターの活動を支えていきたいと思ひます。

活動事例 4

白石区 第2エリア 北白石地区 「新たな集いの場創出から地域の支え合いに向けた取組み」



●事例の概要

「地区に活気を取り戻そう！」を合言葉に協議体と地区地域ケア会議が連携、地域の協力を得て住民の娯楽の場となる新たな集いの場創出。地域の支え合いに向けて協議を進めています。

●事例の地域の概要

集いの場やボランティアに参加する方が減少、特に男性参加者が少ない。コロナの影響もあり閉じこもりがちとなり足腰の筋力低下でフレイルについて相談が増えている。認知症が重症化してからの専門機関への相談が課題となっています。

●具体的な取組内容

◇令和5年 5月 第1回北郷東町内会協議体

【地域と関係機関のネットワーク構築を目指して】

住民より買い物やゴミ捨てに困っている相談が多く寄せられています。課題解決に向けて地域と関係機関が初めて話し合う協議体を設置。出席者より担い手不足や介護予防に繋がる場所がないことなど幅広い意見が出され、地域と関係機関を横断する内容が話し合われました。



◇令和5年 9月 北白石地区地域ケア会議

【北郷東地区の社会資源の充実に向けて】

閉じこもりが原因でフレイルや認知症の方が増えている中、交流の場が少なく集いの場を求める声があがりました。会議では定年退職後の男性や前期高齢者のフレイル予防に向けて話し合いが行われ、新たな集いの場創出を目指して地域と関係機関が連携することとなりました。



◆令和6年 1月 新たな集いの場「地域交流 娯楽の日」スタート

【男性だけではなく、みんなが自由に過ごせる娯楽の場を創設】

町内会役員を中心に役割分担、ワンコインで昼食を提供するスタイルの娯楽の場がスタート。生活応援ボランティア「ひだまり」を講師に健康体操の支援を受け、脳トレや麻雀などを取り入れフレイル予防を視野に開催。笑い声や笑顔あふれる交流の場になっています。



◇令和6年11月 第2回北郷東町内会協議体

【ひとり暮らし高齢者をささえる担い手の負担軽減に向けて】

ひとり暮らしで話し相手や困った時に頼れる方がいない住民が増えています。町内会や民生委員が傾聴し、ケースにより関係機関へ繋いでいますが、協力のさじ加減できりがなくなってしまう等支える側に過度な負担が掛かっている現状を踏まえ、今後も協議を続けていきます。



生活支援コーディネーターとしての思い

元々集いの場を開催してもなかなか参加者が集まらず人間関係が希薄な地区でした。良いメンバーにも恵まれ、買い物やゴミ捨てを取っ掛かりに地域と関係機関のネットワーク構築を図り、新たな娯楽の場を創設できました。支える側に過度な負担が掛かっている現状も把握でき、今後はより綿密な協議を重ねて支える側・支えられる側双方が安心できる地域を目指します。

活動事例
5

厚別区 第2エリア 青葉地区
「あさがお会買い物ツアー再開に向けた取組み」



●事例の概要

社会福祉法人に車両を出してもらい、自治会で買い物ツアーを実施していましたが、コロナ禍で休止となっていました。感染症が5類になったことを機に、自治会と一緒に、社会福祉法人に改めて働きかけ、再開へとつなげました。

●事例の地域の概要

青葉地区は、高齢化率が50%弱と高いものの、大型スーパーがありません。住民の多くは隣接する地区に買い物へ行きますが、交通手段は不便という課題があります。

●具体的な取組内容

令和5年12月
買い物ツアー再開に向け始動

「買い物ツアー再開しないの？」
「買い物に行きたいけど何とかならないのかな・・・」などの声が自治会会長や役員に届いていたことを把握。

令和6年1月
再開を目指した話し合い（協議体）を開催

この時に再開が決定！

コロナ禍により4年間活動を中止しており、社会福祉法人の担当職員も異動等で変わっていました。利用されていた方の心身の状況も変化が出てきている中で、どのように再開したらよいか、再開のためには何が必要かを、社会福祉法人職員も交えて話し合いました。

令和6年4月
活動の具体的な内容を決めていく

- ・棟ごとの参加人数の取りまとめ
- ・車両ごとの責任者を決める
- ・送迎方法や緊急時の対応
- ・当日の流れを確認 等

令和6年4月23日 ついに再開！
ボランティア含め32名が参加



令和6年10月
活動継続のための話し合いを実施

今後も、この活動を続けられるよう定期的に集まり、情報や思いを共有していくこととなりました。

足を悪くしてから、歩いて買い物に行くのが大変だね。
このツアーのおかげで助かっているよ！



生活支援コーディネーターとしての思い

日頃から見守りや、交流の場を定期的に関くなど、人との繋がりや、支え合いを大切にしている自治会だからこそ、順調に進みました。「楽しみにしてくれる人たちのためにも、ここで終わらせないで、協力してくれる法人とも一緒に焦らず無理せずやっていこう」という皆さんの言葉を実現するためにも、継続できる取組みとして、これからもお手伝いしていきたいと思えます。

活動事例 6

豊平区 第2エリア 福住地区 「シニアのためのスマホの会」



●事例の概要

地域のスマホへのニーズをきっかけに、地域の住民同士の交流の場や生活の困りごとを気軽に相談できる場になりました。また、地域住民が「スマホの会」の企画運営を自主的に運営することになりました。

●事例の地域の概要

人口16,501人、高齢化率29.4%。地下鉄東豊線「福住駅」があり、比較的交通に恵まれています。地区の南側は一戸建てが多く、地区の北側（地下鉄側）は共同住宅が多くなっています。

●具体的な取組内容 スマホを題材に気軽に相談・交流できる場づくりと担い手発掘

- ①令和5年度にスマホの困りごとを解消するスマホ座談会を介護予防センターと協力して開催、終了後のアンケート結果では「アプリダウンロードや写真添付などの困りごとが多く、座談会を定期的で開催してほしい。」との意見がありました。
- ②福住地区町内会連合会ではICT化を推進していたため、まちづくり協議会（まちづくりを目的とした住民活動団体）の協力を得ることができました。
- ③令和6年度は「シニアのためのスマホの会」（主催：まちづくり協議会、協力：介護予防センター、豊平区生活支援推進員）を6～10月まで開催しています。

全体の流れ

1 地域資源を活かす

会場は集約が見込める地域にある会館を利用し、まちづくり協議会とスマホ座談会からのボランティアが主体的に参加。

2 「スマホの会」の内容を決定

当初はスマホ座談会のアンケート結果から会の内容とテーマを決定し、第3回目以降は参加者の希望をボランティアも含めた運営に携わる住民などで決定。

3 「スマホの会」の運営

各回の開催前後に、まちづくり協議会やボランティア等の住民を中心に役割分担の確認や振り返り等を実施。

4 「スマホの会」の更なる発展

スマホ以外の困りごとを解決する場を創設。

コーディネーターの視点

地域資源を活かすことにより、地域に馴染んだ住民が参加しやすい場所となりました。地域の担い手がスマホの教え手のため、相談しやすい状況となったことも重要なポイントです。

ボランティアや参加者の意向を重視し、会の運営はボランティアと協議・検討、情報共有に努めました。困りごとの相談だけでなく雑談などの会話に重点を置きました。

将来の自主運営を意識してもらうため、ボランティアの方が継続可能で、わかりやすい方法を模索しました。

会の参加者が新たな担い手となるように、コーディネーターが定期的に生活支援の講話を行い、自然に助け合いへの関心を持てるような関わりを続けています。

生活支援コーディネーターとしての思い

当初は、「スマホの会」を気軽に相談・交流できる場にし、かつ、会の継続と自主運営を目標に後方支援してきました。現在は自主運営となっても楽しく、気軽に相談・交流できる場になっています。今後は、生活支援の相談に繋がっていただければと考えています。

活動事例
7

清田区 第1エリア 平岡地区
「ロピア平岡Ⅱにおける高齢者の生活に関する
懇談会」



●事例の概要

サロン運営を行う中で生じた課題や悩みを解決するため、懇談会（協議体）を実施し、課題解決や今後の取組みについて意見交換を行いました。

●事例の地域の概要

築32年で高齢化が進んでいるマンション。町内会に未加入であり、自治会発足もされていないため、町連にも加入できないことから地域の情報が届きにくくなっています。

●具体的な取組内容

令和5年度に親睦会役員より「高齢者の孤立防止や社会参加のきっかけとして、コロナ禍で中止していた茶話会をサロンとして復活させたい」という相談から、懇談会（協議体）を経てサロンとして再始動しました。

しかし

1年が経過し、参加メンバーの固定化や理事会の協力が得られないなどの課題や悩みが生じていました。

そこで

改めて課題解決のため懇談会（協議体）を開催しました。

懇談会を通して、課題や悩みの解決だけでなく、生活状況を把握するためのアンケート調査を実施する等、今後の取組みについての話し合いも行われました。



生活支援コーディネーターとしての思い

理事会に親睦会の活動へ協力いただけることになり、活動や周知の幅も広がったと思います。アンケート調査では、困っていることの把握に加え、見守り活動にも役立てられるよう個人情報同意を得る設問も入れる予定となっています。今後はアンケートとサロンを活かした支え合い活動を皆さんと考えていきたいです。

活動事例
8

南区 第2エリア 藻岩地区
「集合住宅における住民交流・見守り活動充実に向けた取組み」



●事例の概要

コロナ禍で団地住民の関係が希薄化する中、単身高齢者の救急搬送が立て続けに起きました。自治会の新役員は「何かあった時の備えが必要」「互いが顔見知りになる方法は？」と何度も話し合い、住民交流の場づくりと緊急時にも対応できる見守り活動を進めることにしました。

●事例の地域の概要

藻岩地区にある2棟からなる団地（築約30年）。現在123世帯198名が入居。うち65歳以上が79世帯107名と高齢化率は54%に上り、高齢者の見守りが団地の課題となっています。

●具体的な取組内容

年・月	自治会の取組み	生活支援コーディネーターの動き
R5.10		協議体実施
R6.4～	新役員体制にて様々な課題解決の検討開始	新役員との対話と協働を積み重ね、役員会やサロン会、手話講座へ積極的に参加し、信頼関係の構築に努めました。 また、民生委員への働きかけも実施しています。
R6.6～	手話講座開催⇒毎月開催へ	
R6.7	サロン会実施	
R6.8～	サロン会の毎月開催へ 見守り活動の具体化検討	
R6.9～	全戸訪問にて緊急時対応の聞き取り調査	
R6.10～	見守りマップ作成検討	協議体実施
R6.11	サロン会の内容再検討	
R6.12	クリスマス会（サロン会）	
R7.1～	サロン増設の具体化	



生活支援コーディネーターとしての思い

令和6年度の自治会役員の方々には、会長はじめ皆さんが有言実行を絵に描いたような方ばかり。昨年度に引き続き、自治会役員の主体性に寄り添った支援を継続してきました。また、提案型の支援を意識し、住民主体の活動の後押しを行ってきました。より安心して暮らせる住みよい団地を目指し、今後は単身高齢者の支援を強化し、移動支援や買い物支援など地域資源を活用した取組みも展開していきたいと思っております。

活動事例
9

西区 第2エリア 西野地区
「地域のカフェを活用し支え合いの場づくりへ」



西野二股バス停前にある
なないろカフェ シェリーのポック



バス待ちの人が自由に
利用できる店舗前の
店主お手製のベンチ



夢はみんなで想い合える
場所を作ることという
店主のひろこさん
(店内の撮影スポットにて)

●事例の概要

西野地区(昭和エリア)における社会資源の調査を進める中で、高齢者が気軽に集える場所が少なくなっている状況を把握。貴重な社会資源の一つである『なないろカフェ シェリーのポック(喫茶店)』は、店主が“このお店を地域に開かれた場所として活用していきたい”という想いを持っていたことから、地域住民とつなぎ、集いの場・助け合いの場となるよう支援を進めました。

●事例の地域の概要

西野地区は高齢化率が34.6%(R7.1.1)と西区内で最も高い地域。戸建て住宅が多く、高齢者のみの世帯も多いです。コロナ後、サークルやサロン活動が停滞気味で、高齢者がお茶を飲みながら交流できる場が減っています。

●具体的な取組内容

地域住民と店舗をつなげることや、店舗を活用した今後の取組みの検討を目的に協議体を開催(7月24日)。「老人クラブ活動時や公園でのおしゃべりサロンへ弁当を配達してもらっているが、店舗そのものが認知されていないのではないか」「外から中が見えないので高齢者が入りづらいかもしれない」などの意見が出され、来店のきっかけ作りとして安価な価格での食事会を開催してはどうかなどの提案がありました。今年度初めて町内会の夏祭りへの出店を計画していたため知名度アップにつながることを期待する声もありました。



協議体での話し合いを受け、店主と相談を重ねた結果、「シニアみんなのお食事会」を企画することになりました。

10月24日(木)に1回目、12月24日(火)に2回目を開催。

15食限定としましたが、両日とも満席となる大賑わいでした。1回目は参加者の発案で簡単なゲームを楽しみました。2回目はクリスマスイブだったため季節にちなんだ歌を伴奏に合わせて合唱しました。

介護予防センター職員も交え、参加者の日常生活に関する話や得意分野についても会話が弾みました。西野地区ですすめている『ご近所先生リスト』作成のためのネタも拾うことができました。

生活支援コーディネーターとしての思い

集いの場の減少や昭和会館の近くにあったケーキ屋さんの休止もあり、シェリーのポックは気軽にお茶を飲みながら集える貴重な資源。お食事会を継続して開催し、住民同士のつながりを作り、そこから困りごとの把握、助け合いの場に発展させていきたいです。

活動事例
10

手稲区 第1エリア 新発寒地区
「老人クラブ新発寒寿会の福祉除雪からつながる
支え合い」



●事例の概要

新発寒寿会（以下、「寿会」）は、令和5年度から福祉除雪事業の地域協力員として団体登録し活動している区内唯一の老人クラブです。

寿会では、区社協に寄せられる除雪に関する住民の要望を共有し、これまでの取組みや活動中でのメンバーの困りごとについて意見交換を行いながら、活動を進めています。

●事例の地域の概要

新発寒地区は3つの連合町内会から構成されています。高齢化率は、最も高いエリアと低いエリアでは約7ポイントの差があり、今回紹介している寿会は、特に高齢世帯が多い地域となっており、見守りや支え合いが求められています。

●具体的な取組内容

令和5年度に初めて福祉除雪の地域協力員として
団体登録→会員7名・3軒の担当でスタート。

シーズン終了後の振り返りの場で、福祉除雪の対象外となる、車庫前や灯油タンク周りの除雪も住民からの要望を受け、自主的に行っていたことを把握。

**これを踏まえ、寿会の更なる活動に向けて
生活支援コーディネーターが助言。**



寿会 = 福祉除雪地域協力員

生活支援コーディネーター

福祉除雪の対象箇所？

いいえ

生活支援コーディネーターが把握する、除雪に関する住民の要望を共有

はい

福祉除雪の
範囲内で実施

福祉除雪とは別に
生活支援の担い手として実施



寿会の会員からは「福祉除雪対象外の作業を行うことで周囲に誤解を与えてしまわないか」という不安も聞かれたことから、安心して活動を続けられるように意見交換会を実施。対象外の作業の際にはお揃いのジャンパーを着て活動しています。

令和6年度は会員2名が作業メンバーとして加わる
→会員9名・10軒の担当で力を合わせて活動を継続。

寿会のジャンパーを着ることで
会のPRにも繋がっています。

生活支援コーディネーターとしての思い

老人クラブ新発寒寿会の支え合い活動は除雪に限らず、買い物や草刈りなどで困っている近隣住民を対象に、お互い様の精神で活動を行っています。この寿会の支え合い活動が広く周知され、他の地域でも支え合いの輪が広まるよう取り組んでいきたいと思えます。

また、これからも安心して寿会の支え合い活動ができるよう関わっていきます。

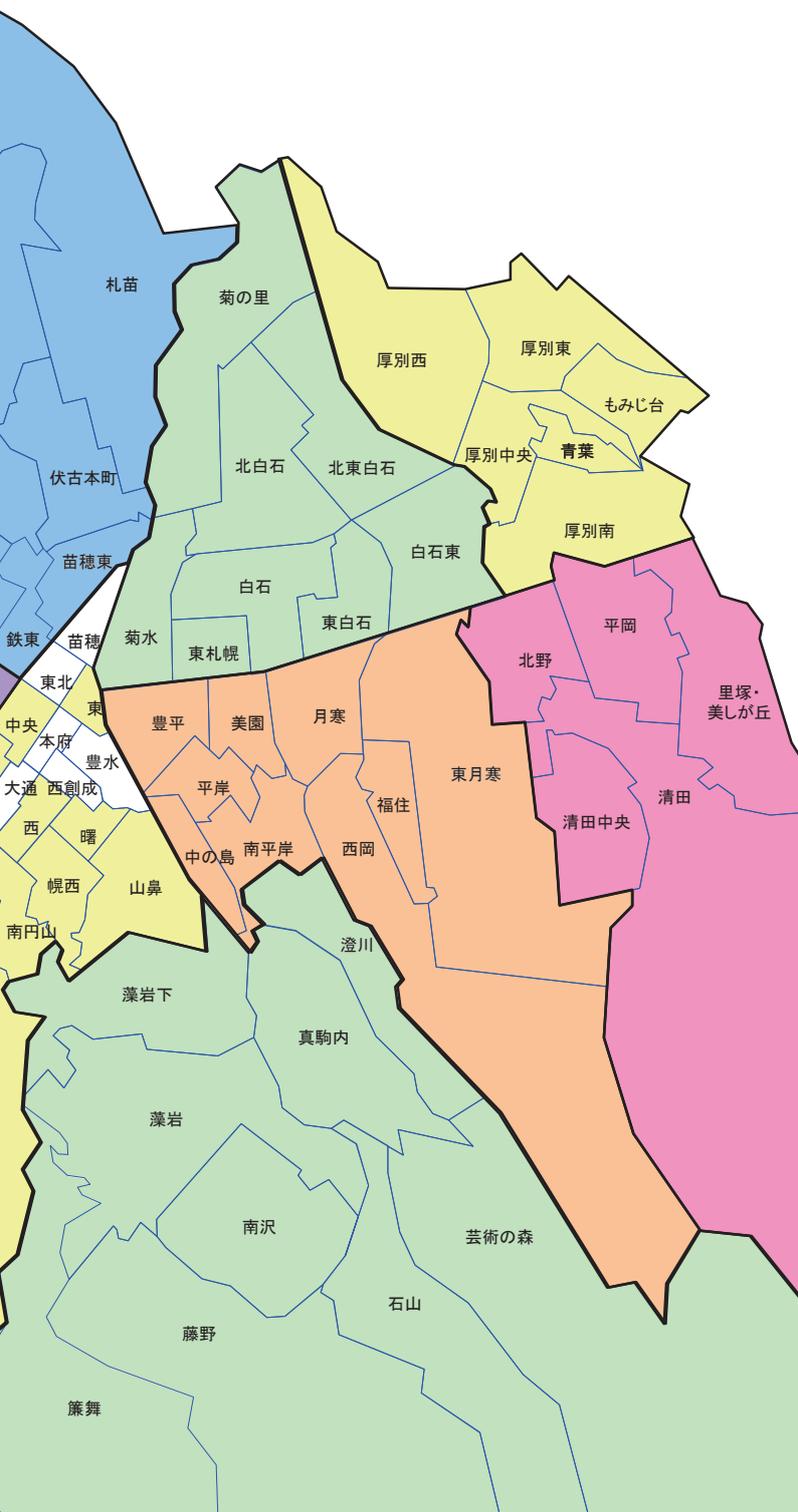
No.	豊平区 2層協議体
45	中の島地区 (1区町内会)
46	月寒地区 (西月寒団地、月寒東団地)
47	西岡地区 (西岡北団地、西岡南団地)
48	福住地区 (老人クラブ、福住さつき町内会、まちづくり協議会)
49	豊平地区 (旭水町内会、第一分区町内会、豊平鉄南エリア)
50	美園地区
51	平岸地区 (南平岸地区合同、新木の花園地)
52	南平岸地区 (平岸地区合同、高台周辺エリア8町内会、グランドハイツ平岸台、東急ドエル平岸台)
53	東月寒地区

No.	清田区 2層協議体
54	北野地区 (北野 641 自治、北野グリーンタウン自治会、北野新和町内会)
55	清田中央地区 (清田南若葉会・清田自治会、清田西町町内会・清田団地元町町内会)
56	平岡地区 (平岡三条団地自治会・平岡春風台町内会、平岡小学校前町内会、ロピア平岡Ⅱ)
57	里塚・美しが丘地区 (里塚団地自治会、美里町内会、美しが丘団地自治会)
58	清田地区 (真栄団地町内会)

No.	南区 2層協議体
59	石山地区 (石山五区第一町内会、石山ヒルタウン町内会)
60	藤野地区
61	藻岩下地区 (藻岩下第 10 町内会、藻岩下第 3 町内会)
62	南沢地区
63	真駒内区 (UR あけぼの団地、真駒内緑町第一住宅団地)
64	定山溪地区
65	藻岩地区 (中ノ沢地区、市営川沿団地自治会、北ノ沢王子団地町内会)
66	芸術の森地区
67	澄川地区 (新陽町内会)
68	簾舞地区 (第6ブロック)

No.	西区 2層協議体
69	琴似二十四軒地区 (ラポール二十四軒)
70	山の手地区 (やまべのつどい運営委員会)
71	発寒地区
72	西野地区 (平和第一町内会、昭和地区)
73	西町地区 (宮の沢町内会)
74	発寒北地区
75	八軒地区 (NPO 法人あかはなスマイルキッズ、八軒東地区)

No.	手稲区 2層協議体
76	富丘西宮の沢地区
77	手稲中央地区
78	前田地区 (ひまわり町内会)
79	手稲鉄北地区 (稲山連合町内会、手稲鉄北地区福まち)
80	稲穂金山地区 (金山連合町内会)
81	新発寒地区 (新発寒寿会、新発寒わらび連合町内会)



<令和7年3月現在>

お問い合わせ先

生活支援体制整備事業についてのお問い合わせは、札幌市社会福祉協議会もしくは第1層生活支援コーディネーターが配置されている区社会福祉協議会へご連絡ください。

名 称	所 在 地	電話番号
中央区社会福祉協議会	札幌市中央区南3条西11丁目 中央区複合庁舎5階	281-6113
北 区社会福祉協議会	札幌市北区北24条西6丁目 北区役所1階	757-2482
東 区社会福祉協議会	札幌市東区北11条東7丁目 東区民センター1階	741-6440
白石区社会福祉協議会	札幌市白石区南郷通1丁目南8 白石区複合庁舎1階	861-3700
厚別区社会福祉協議会	札幌市厚別区厚別中央1条5丁目 厚別区民センター1階	895-2483
豊平区社会福祉協議会	札幌市豊平区平岸6条10丁目 豊平区民センター1階	815-2940
清田区社会福祉協議会	札幌市清田区平岡1条1丁目 清田区総合庁舎3階	889-2491
南 区社会福祉協議会	札幌市南区真駒内幸町2丁目 南区役所3階	582-2415
西 区社会福祉協議会	札幌市西区琴似2条7丁目 西区役所1階	641-6996
手稲区社会福祉協議会	札幌市手稲区前田1条11丁目 手稲区民センター1階	681-2644
札幌市社会福祉協議会	札幌市中央区大通西19丁目1-1 札幌市社会福祉総合センター3階	614-3344

●作成 社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会、各区社会福祉協議会 /
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 / 社会医療法人 豊生会 /
医療法人 重仁会 / 社会医療法人 恵和会 / 医療法人 愛全会

●問合せ 社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会
札幌市中央区大通西19丁目1-1 札幌市社会福祉総合センター3階
TEL: 011-614-3344 FAX: 011-614-1109

●発行日 令和7年3月